

MUFG・ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金の平成 24 年度活動状況

平成 25 年 3 月 29 日

平成 23 年 4 月に株式会社三菱東京 UFJ 銀行と公益社団法人日本ユネスコ協会が共同で創設した『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金』は、小・中・高校生への奨学金給付を柱とした基金です(平成 25 年 2 月末現在の奨学生は 1,231 名)。

当該基金は奨学金の給付のほか、津波被害や除染作業等で失われた学校の花壇を再生するボランティアプログラムや、奨学生の成長を応援する交流会の開催、奨学生の TOMODACHI I(*)・MUFG 国際交流プログラムへの参加を支援しています。

平成 24 年度は 5 月から 11 月に、計 12 回、14 校の小中学校等で花壇の再生を行い、三菱東京 UFJ 銀行を含む MUFG グループの役職員延べ 360 名がボランティアに参加しました。また、7 月から 8 月にかけて 2 週間、奨学生 8 名を含む被災地の中高生 20 名および教職員 4 名が、米国カリフォルニア州のカルスバッドおよびロスアンゼルスでのホームステイや英語学習、企業訪問、現地コミュニティとの交流を行う第 1 回 TOMODACHI・MUFG 国際交流プログラムに参加しました。12 月には、一般社団法人日本プロサッカー選手会が主催する仙台でのサッカーのチャリティマッチに被災地の奨学生 17 名を含む約 30 名を招待し、試合観戦の他、奨学生とプロサッカー選手が交流しました。

(*)三菱東京 UFJ 銀行はじめ MUFG グループは、平成 24 年 4 月に東日本大震災からの日本の復興を支援し、長期にわたる日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し友好を深め、両国の将来の世代に投資する官民パートナーシップである TOMODACHI イニシアチブに参画しています。



<花壇再生ボランティア>



<国際交流プログラム>



<チャリティサッカー>

